**No. 57**

発行 (社) 愛知建築士会名古屋西支部

編集 広報専門委員会

清須市西枇杷島町南六軒37 みのじの館内

TEL(052)502-0938 FAX(052)502-0939

印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227

2010年 名古屋開府400年祭

名古屋のまちづくりが始まって400年

名古屋のまちづくりは、1610年(慶長15年)の「名古屋城築城」や「堀川開削」開始と「清須越」(清須からの町ぐるみの移転)などにはじまります。そして、初代藩主に徳川義直公を迎えての尾張藩開府…。

名古屋城「本丸御殿」は、建物の素晴らしさばかりでなく、室内を華麗に彩る狩野派による障壁画など、当時最高の技術が集約されており、この建築技術が筆筒、仏壇など尾張の伝統産業の源流となっています。

時計技術から発達した「山車からくり」は、明治期に入り工作機械や自動織機など近代機械技術へと大きく発展し、名古屋「モノづくり王国」の源流となっていました。

また、江戸期には、茶道、舞踊、義太夫、常磐津、長唄、歌舞伎、淨瑠璃など幅広い分野の芸能文化が名古屋に定着し「芸処なごや」の礎となりました。

それから400年…名古屋はモノづくり文化が花開き、商工業が栄えるとともに、近世武家文化の薰りも色濃く残る、産業と文化が調和した我が国を代表する大都市として発展・成長を遂げてきました。

2010年は“名古屋開府400年”記念の年

来る2010年(平成22年)は、名古屋開府400年の節目の年にあたり、次なる100年に向けた新たな飛躍のための出発の年と認識しています。

この記念すべき年に、市民のみなさまといっしょに、名古屋のこれまでを振り返り、これからを展望しつつ、名古屋のまちをおおいに盛り上げていきましょう。

そして、将来に向けて、みんなの夢をつないでいきたいと思っています。

●名古屋開府400年記念事業の概要

事業名	名古屋開府400年祭
開催期間	2010年1月1日~12月31日(365日)
会場	名古屋市内各地
事業展開のコンセプト	夢、つなごう
テーマ	【メインテーマ】未来の子どもたちへ 【サブテーマ】歴史と文化 交流と祝祭
主催	名古屋開府400年記念事業実行委員会
事業内容	実行委員会主催事業 パートナーシップ事業等

名古屋開府400年記念事業は、次の三つの方向を取り込んで進めていきます。

【子どもの参画】

「子ども実行委員会」をつくり、未来の名古屋を担う子どもたちが、自ら子どもたちの事業を企画し、名古屋開府400年祭に参画します。

【市民・企業などの連携】

「パートナーシップ事業」や既存の行・催事など市民・企業等の民間主催事業と連携しながら名古屋開府400年祭をつくっていきます。また、「はち丸サポートCLUB」を結成し、市民とマスコットキャラクターが一緒になって、名古屋開府400年祭を盛り上げていきます。

【広報展開】

子どもたちによって誕生した400年の旅人「はち丸」、やつとカメ「だなも」、なごやジョウ「エビザベス」、ねがいボシ「かなえっち」というマスコットキャラクターが、さまざまな形で広報展開を図っていきます。イベント等でのグリーティング活動、キャラクターグッズ制作・配布、はち丸ブログなどウェブ上の発信、メディアとの連携、他都市へのPRキャラバン隊によるプロモーション活動などを実施していきます。

名古屋開府400年祭

名古屋開府400年祭を行うことが、市民のみなさんに幸福と自信をもたらし、未来の名古屋を担う子どもたちに、先人が積み上げてきた物心両面の蓄積を受け渡すとともに、夢を持って未来を切り開いていくきっかけとなることを期待しています。

そのために、次の三つの視点を満たす試みを、名古屋開府400年祭の中で進めていきたいと考えています。

【名古屋の埋蔵金発掘】

身近なところにある魅力を名古屋の自慢として、市民のみなさん総がかりで探し出していくいます。

【祭りの復活】

名古屋がかつて文化と祭りの国であったことを思い出し、そのことの幸運と喜びを体現するために、市民のみなさんに祭りの主役となっていただきます。

【大都市の中で自然を活かし続ける試み】

大都会・名古屋にいまも残っている“自然”といった環境、これも市民のみなさんの貴重な財産ということを認識し大切にしていきたいと思います。

名古屋開府400年祭は、名古屋開府400年記念事業実行委員会主催の通年事業と期間事業、実行委員会と民間等との共催事業、パートナーシップ事業を含む民間等主催の行・催事などが広く連携して一年間展開していきます。

こうした取り組みを通じて、これまでに築きあげてきた名古屋の魅力と財産を市民の皆さんと一緒に見つめ直し、多くの方に知っていたとき郷土への誇りと愛着を一層深めていただくことが、名古屋のまちが将来にわたって発展し続ける礎になるものと思います。

名古屋開府400年祭の内容やイベント情報などについては「名古屋開府400年祭公式ウェブサイト」をご覧下さい。

URL:<http://www.nagoya400.jp/>

名古屋市総務局総合調整部

主幹(名古屋開府400年祭の推進)／利國 浩雄

名古屋6支部創立20周年記念事業

長谷川 隆雄

メインイベント
2009年11月14日(土)

ナディアパークデザインセンターにて

1950年に建築士法が制定され翌51年に愛知建築士会が設立されました。翌年から県内各地で支部が結成され独自の活動を始めました。「名古屋にも支部を」と切望する先輩達の熱意と努力で、1990年(平成2年)名古屋6支部が結成され、名古屋西支部では馬場富雄初代支部長のもと、活発な支部活動を進めました。1999年に名古屋6支部創立10周年記念事業が「住宅と環境」をテーマに行われました。

昨年春から創立20周年記念事業実行委員会が発足し、佐藤東亜男委員長のもと「楽しい建築・まち」をテーマに計画が進められ11月挙行の運びとなりました。

11月14日、講演会に先立ち、会場隣接の矢場公園にて一般の人達にも参加して頂く、実演・体験「匠にチャレンジ」が開催される予定でしたが天候不良で中止になりました。

記念事業をかたちとして残すため、記念誌一「楽しい建築・まち」が作られました。これは次世代に残したい建築・まちを支部会員が足で集めた建築MAPで、講演会

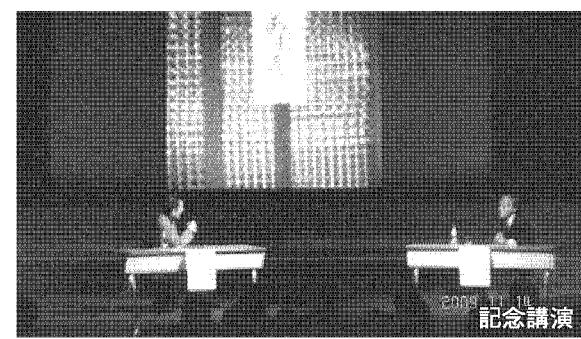
参加者、全支部会員に配布されます。

メインイベントの記念講演会は、「楽しい建築・まち」をテーマに藤森照信氏(建築家・東京大学教授)に語って頂きました。映像を使った氏の作品が紹介され、自然素材を用いた超人的な発想は、まさに「楽しい建築」と感じました。特に、屋根にニラを植えた日本芸術大賞受賞作品、赤瀬川原平氏邸「ニラ・ハウス」は傑作です。続いて、その赤瀬川原平氏(前衛美術家・随筆家・作家)

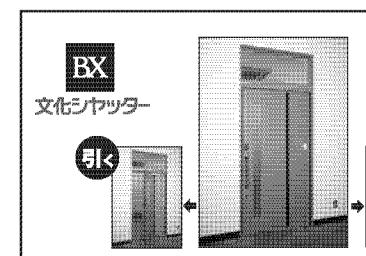
との対談に移りました。両氏は、「東京建築探偵団・路上観察活動」を通じ、町で見付けた光景の映像を見ながら楽しく語り合って頂きました。この行事は前日「朝日新聞」で案内され一般の人も多数参加された様です。

会場を移しての懇親会は、10周年記念事業で実行委員長を務めた馬場富雄氏の乾杯の発声で始まり和やかなひと時を過ごしました。

30周年の時、世の中はどう変わっているのでしょうか…。



Hyper MEGA NAKSII
(プレポーリング系高支持力工法) (中掘系高支持力工法)
日本コンクリート工業株式会社 NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.



引いても
押しても
開く、快適ドアです。
ユニバーサル
デザイン

壁面開板自由開き折れ戸
ピクオス
文化シャッター株式会社
中部支社 営業開発部
愛知県名古屋市東区泉1-9-22
名古屋BXビル8階 〒461-0001
電話 052-955-2231
FAX 052-955-2551
<http://www.bunka-s.co.jp>

濃路ウォッキング

清須越400年事業ネットワーク 臼井 鑄造

上記会が設立され、6ヶ月経ちました。3分科会に分かれ活動が進んでいます。

調査研究分科会では、清須越寺社約130社について訪問調査が本格化し、寺院の集中している東寺町、南寺町から調査が進んでいます。3~4人のチームで、1日3~4寺が限界とのことで、興がるると1寺に半日かかることもあるそうです。歴史好きのメンバーのため、期限内にどれだけ廻ることができるのか心配になります。



旧五条川石碑見学 清洲小学校には「清須越・美濃路」として、新清洲駅～清洲公園～美濃路～西枇杷島までの「まち歩き」が開催されました。10月10日には「清須越・美濃路」として、新清洲駅～清洲公園～美濃路～西枇杷島までの「まち歩き」が開催されました。加藤富久氏と私が説明者となり、都市センターの1名を含め15名の参加者でした。清須地区は加藤氏の説明に熱がこもり、予定時間ははるかに超えてしまい、結局、中間の須ヶ口で打ち切りとなってしまいました。新川橋ポケットパークは是非とも見てもらいたかったし、みのじの館では、中村会長が茶葉を準備していましたが残念でした。

制作分科会は私達、協議会が担当し、「清須越寺社移転マップ」、展示パネル作りを計画しています。調査研究分科会の調査成果をもとに、資料としての正確なマップと清須越を視覚化した展示パネル等を作ります。幅広いまちづくり団体の協働による事業の成果が楽しみです。

イベント分科会では、年内に4回の学習会と4回のまち歩きを計画し、9月29日「清須越と清須の寺社」のテーマで、私達協議会の加藤富久氏が講師となり、東区白壁にある権木館にて学習会が開催されました。10月10日

美濃路のぼり設置 臼井 鑄造

前号でもお知らせしました、美濃路沿線の旧町名を記した「のぼり」を、10月17日(土)再び設置する作業を行いました。11月22日(日)に同時開催される「2009秋 美濃路ウォーキング」と「夢ウォーカーみのじ」に備えるため、清須市と協力して実施したもので、7名の参加者が、2班に分かれて作業につきました。前半は順調に進みました。後半は激しい雨と雷のため、とても作業ができる状態ではなくなり、作業時間も3時間となり中止することになりました。それでも、作業が慣れてきたため、15ヶ所に設置できました。



美濃路沿線にて

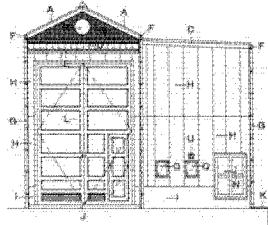
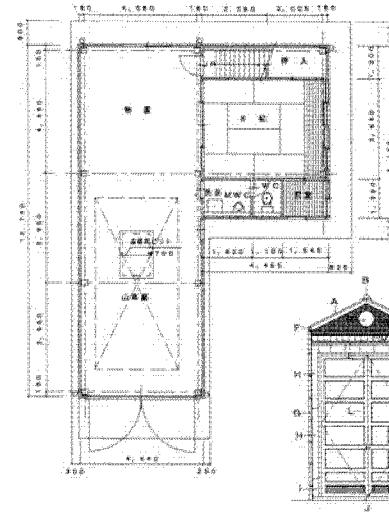
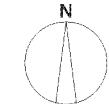
西枇杷島町松西山車藏基本設計提出 美濃路まちづくり推進協議会 中村 順吉

尾張西枇杷島まつりで引き回される山車は5輦あります。松西町の山車「頬光車」はまつりのあと、解体され山車蔵に収納されています。かねてより、松西町では組み立てられた姿のまま収納できる「山車蔵」を作りたいと考えていました。

平成20年、松西町山車蔵建設準備委員会が設立され、私達、協議会も参加依頼を受け、建設設計画に取り組んできました。平成21年3月、準備委員会から基本設計と概算工事費の作成依頼があり、9月28日、準備委員会へ成果品の提出と、内容説明を行ないました。

鉄骨造2階建て、日本瓦葺き、切妻妻入、外壁は押出し成形セメント版となっています。このような時期、県や市の助成金の目途が立たず、いつ実施になるのか不明です。

西枇杷島町
松西「山車蔵」
基本設計図



恒例の行事として9月26日清須市みずとぴあ庄内で開催された。会場の屋外ステージでアトラクションや、市文化協会各クラブの多彩な芸能発表。文芸コーナーやほろ酔いコーナー、夜店など多くの市民が参加し賑わった。みのじ会のブースでは西支部のみのじ会員も、備長炭にうちわで扇ぎながら、イカ焼きやげそ焼きに夢中でした。秋の夜のひと時を満喫できたでしょう。

会場から名古屋駅高層ビル群の夜景のすばらしさと名月を楽しむエキセントリックさが、現代風なのかも。今年は10月3日が中秋の名月です。市の祭りとの重複で開催日が早まり、名月が半月なのが心残りである。

満月の中でも中秋の名月だけがなぜ有名なのか?それは月の満ち欠けによって暦を作った太陰暦(旧暦)で、7月~9月を秋としている。その真中の8月15日を中秋といいます。月の鑑賞は中国から伝わった行事で、日本では9世紀末頃から宮中で月見の宴が行なわれていた。秋は空が澄み渡り、月の高度がほどよく眺められるので、月を楽しむ習慣が継続している。

研修見学会 柴田 雅弘

9月12日(土)、研修見学会で信州の小布施町の散策に行きました。初めて参加させて頂いた私にとって、片道4時間の移動時間も他の方とコミュニケーションが取れて充実した時間になりました。

現地に到着して昼食を済ませた後は、町づくりの修景計画に携わった宮本忠長建築事務所の方々が、当時から現在までのいろいろなお話しをしてください、町の案内もして頂けたので、より深く理解する事ができました。

それとお店もあり、お土産屋さんや野菜や果物、地酒やワイン。すこし離れた場所にはフラワーガーデンもあり、観光したくなる町づくりを住民の方などと協力で成り立っているんだなあと思いました。

町づくりをするのに、何も無い土地からスタートするのと既存の建物景観を考え、その住民の方に理解してもらいスタートするのとでは同じ「町づくり」でも比較にならないと思いました。私としては町づくり・家づくりに時間がたくさんかかるが、次の世代の人達が同じ気持ちになってくれると思いますし、現在のいい所、環境も含めて、少しでも多く残してあげたいと感じました。



小布施の街並

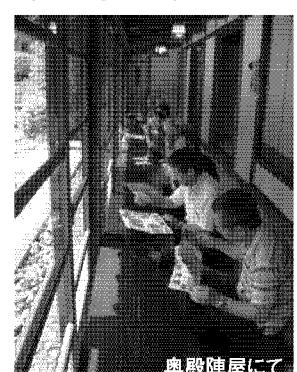
私ごとですが、今回の研修会で生前、両親が大変お世話になった方々にお会いする事ができました。両親からは仕事の方のお名前を聞く機会が少なく、ご挨拶できなかった方々に大変失礼致しました。今後は、両親の遺志を継ぎ、いろんな事に挑戦していきたいと思っています。

役員オリエンテーション 鏡 哲也

平成21年8月22日(土)、ウェルサンピア岡崎の会議室で平成21年度名古屋西支部役員オリエンテーションが参加者12名にて開催されました。到着後すぐに会議室に集合し「名古屋西支部20周年、支部活性化」について話し合いました。20周年については10周年時に開催した記念事業を参考にしながら、現在の支部状況に見合った提案が出されました。その中でこの伝統ある「めいせい」についても議論され、来年は60号を20周年記念号とする案も出ました。支部活性化については主に会員増強について議論され、魅力的な西支部事業を行うことによって、支部に属されていない本会の会員さんや、西支部管内に入会されていない人に、是非とも会員になってもらおうといった話になりました。その他、これから西支部の運営方法についても議論され、会議は時間一杯で終了しました。



夜はささやかな懇親会が催され、次の日に研修として奥殿陣屋が活躍した時代を彷彿させる「奥殿陣屋」を見学し、書院造りの建物で抹茶をいただきました。そして、トヨタ鞍ヶ池記念館まで赴き、旧豊田喜一郎別荘(鈴木楨次設計)、と記念館(横文彦設計)を見学し、トヨタの歴史に触れて帰ってきました。



奥殿陣屋にて

構造設計者の集い 江口 真樹

去る8月28日に第1回「構造設計者の集い」を清洲市民センター会議室にて開催しました。構造設計の重要性が増し、適合性判定制度などで確認機関の、以前とは比較にならないほどの細かい指摘を受け、構造設計者は、たくさんの疑問や悩みを抱えているのが現状です。こうした疑問、悩みを、気軽に話し合い、少しでも解決できるようにとこの集いはスタートしました。当初、7~8名の参加を見込んで会議室も小さいのを用意したところ、14名の出席があり、10月23日の第2回は少し大きな会議室に変更いたしました。会議は17:45からですが、予定の2時間はあっという間に過ぎ、1時間も超過するほど盛り上がりでした。現在会員数は16名、西支部会員であることが原則ですが、熱心な方であれば他支部会員でもOKです。隔月に開催する予定ですので、参加希望者は事務局または支部長にご連絡ください。

今のところ、勉強会、情報交換の場、時には理不尽とも思える指摘にたいしてグチを言ったりする場ですが、構造設計者の親睦、交流にも力を入れていきたいと思っています。

どうぞ皆様、気軽にご参加ください。少なくとも憂さは晴れます。



機能やメンテナンス性に加えて、デザインにこだわるなら
こだわりのクオリティ、
サンゲツの
カーペットタイル

私のおすすめ

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

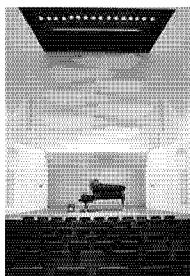
クラシック音楽

江口 玲子

私のおすすめはクラシック音楽です。と言いましても、私がとりわけクラシックに精通しているという訳ではなく、単に楽しむという程度なのですが。

クラシック音楽というと堅苦しいイメージもあるかと思いますが、身边にも結構あふれているものです。例えばCM、ドラマ、映画、そしてフィギュアスケート。今シーズンはオリンピックもあり、日本人選手の活躍も期待されていますので、色々なクラシック曲に触れるチャンスもあります。

更に私がおすすめする2つの具体的なことがらを簡単にご紹介します。1つはNHKの番組「名曲探偵アマデウス」です。(放送時間はBSHi、BS2、総合とバラ



宗次ホール

バラですのでHPでお確かめ下さい。)

観利夫さん扮する探偵、天出田夫(アマデウス)と黒川芽以さん扮する助手、轟カノンに毎回ゲスト1人の3人だけで展開する舞台劇のようなドラマです。専門家(学者や演奏家)が色々な名曲を分析してくれる部分もあります。今までにヴィヴァルディ「四季」とかホルスト「惑星」などがとりあげられました。

もう1つは栄に2007年オープンした「宗次ホール」です。CoCo壱番屋の創業者宗次徳二さんが造られた、地下鉄栄駅から徒歩5分という便利なところにある310席のすてきなクラシック音楽専用ホールです。

企画も充実していてクラシック愛好者を増やそうという意欲がとても感じられます。月に10回近く催されるランチタイムコンサートは、1回1,000円で時間も1時間程度なので気軽に楽しめます。内装もすべて本當におすすめです。(これを書き終えてから名古屋6支部20周年記念冊子「楽しい建築・まち」を見ましたら、P70に宗次ホールのことが詳しく載っていました。そちらもぜひご覧下さい。)

一級建築士試験に思う 森 登

12月中旬には合否がハッキリしますが、今年の学科試験では、ぬか喜びをさせられた受験者が多かったようです。誰だって125点中95点(76%)採れば

「よっしゃ」となりますよ…しかし…。国家試験なのに、合格点数が著しく違うというのは、どうなんでしょうね? 学科試験は、基本的な知識、理解力を問うもののはず。問題数が変わったとしても、例年程度の難易度にどうして出来ないのでしょうか?

過去問題中心で作られ、基本的な知識水準を90点としたなら、それ以上の点数を取った受験者には、堂々と製図試験で勝負させるべきだと思います。或いは、

山歩き同好会 森 登

岐阜県揖斐川町・「貝月山」(1234m)

11月1日(日)6名の参加者で、揖斐高原の貝月山に登りました。手前で立ち寄ったスキ一場では、午前中「里芋祭り」を開催予定との事。焼き里芋・里芋鍋があるのというので、下山後の楽しみに。雨の心配もあったので登山口へ急ぎました。

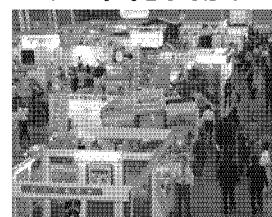
貝月スキー場の上流のふれあいの森に車を止め、「自然薯があるかも」ということで、Uさんは、メンバーの車に常備(?)してある携帯用のツルハシ付きのスコップを借りて、ザックにくくって、準備OK、山歩き開始です。標高と共に紅葉が進んで、目の前の空気の色が変わっていく様が感動的でした。時折、雲の切れ目から向こうの稜線に日が射し、黄金色に輝いていました。その中にピンク色に染まった樹木を発見!!! (紹介できないのが残念です)

日越峠に出てからは背丈ほどの笹藪を掻き分けな

がらの尾根歩きで、笹のせいが低くなかったと思ったら頂上でした。登り70分、下りは40分で、自然薯を探す時間は充分にありましたが、あいにく標高が生育に合わないようで、ツルを発見することができませんでした。下山後の楽しみにしていた「里芋祭り」も終了(?)していました。

寒冷前線が迫っているにもかかわらず、雨に降られずに山歩き出来たことを「良し」として、「里山の秋の味覚」は藤橋の道の駅で探すことにしました。

建築総合展 建築士デー



10月8日(木)~10日(土)
吹上ホールにて



10月9日(金)
国際ホテルにて

家族親睦会

遠藤 昭子

「やな・サンプル体験」in 郡上八幡

残暑の厳しい夏休みの最後の日曜日、8月30日、5家族16名の参加で郡上八幡にある鮎料理の「みやちか」に集合し家族親睦会を行いました。

そこでは「やな」が併設しており、子供達は冷たい水の流れを楽しんでいました。始めのうちはよそよそしくしていた子供達も、一緒にはしゃぐうちに次第に仲良くなっていきました。ひとしきり遊んだ後、甘露煮や塩焼きなど様々な鮎料理をいただきました。

次に「サンブルビレッジいわさき」に移動しサンブル体験です。中に入るとおいしそうなサンブルがずらり。間近で見ても、本物と見間違えるくらいです。お湯に2色の鱈を少し重ねて、固まる前に少しずつお湯の中に引っ張り、レタスのしなしな感を出していきます。芯の部分を軽く丸めて、左右に転がし優しくたたんでいくと…本物そっくりのレタスが出来上がり。包丁で切ると「サクッ」と切る音も本物そっくりです。

次に天ぷらです。衣を作るため、少し高い位置から鱈をぬるま湯に少しずつ落としていきます。衣ができるたら、選んだ具をまきまき…。軽く巻けばいいのに力が入って、メタボへまっしぐらの“こってり”天ぷらになってしまいました。

学生のコラム LOHAS

名古屋デザイナー学院
インテリアデザインコース
岩田 梢

私は卒業制作で、保育園の設計をしています。

本来子供は様々な遊びや日常生活の中で基本的な動作を身につけ、成長していきます。しかし今の子供たち、特に都会で暮らす子供たちは外遊びが苦手で、その結果体力低下といった問題が増えています。木や花に触れたり、いろいろな生き物に触れるなかで、自然に触れることがや、木があれば登ったり、枝や石で秘密基地を作ったり、一昔前なら当たり前だった遊びが、現代の子供に必要だと思います。つまり、LOHASな体験をすることで、体力や五感力、想像力を育めると思います。

なので私は、一昔前のような、自然の中から遊びを見つけ、自然と遊びを身につけることができるような、日本が古来から持っていた「ココロ・カラダ・地球にやさしい」ライフスタイル=LOHASをコンセプトとした保育園を提案しました。

LOHASなブログ作りや空間作りなど、よりアリティのあるものになるように、頑張っていきたいと思います。



筆者(右から2番目)

平成20年度
1級建築士
試験合格者
合格者
占有率
愛知県
No.1

愛知県の合格者の7割以上は、当学院の受講生でした。

愛知県合格者
261名中
当学院合格者
185名

70.9%

確かな実績に基づく指導ノウハウで合格に導きます

建築士・宅建
人気の資格
資格の基礎

WEB SITE RENEWAL OPEN!

いよいよウェブ検索
始めます! 検索
www.shikaku.co.jp

超高強度軽量コンクリート製OAフロア
ネットワークフロア29/40

10年保証製品

人と社会に快適テクノロジー

共同カイテック株式会社 URL <http://www.ky-tec.co.jp>

(中部FS営業所) TEL 052-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-8 TEL (052) 581-0204

Total Media Support

WELL ON 株式会社 ウエルオン

Tel 460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号
TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178
URL <http://www.well-on.co.jp/>



集中豪雨による土石流

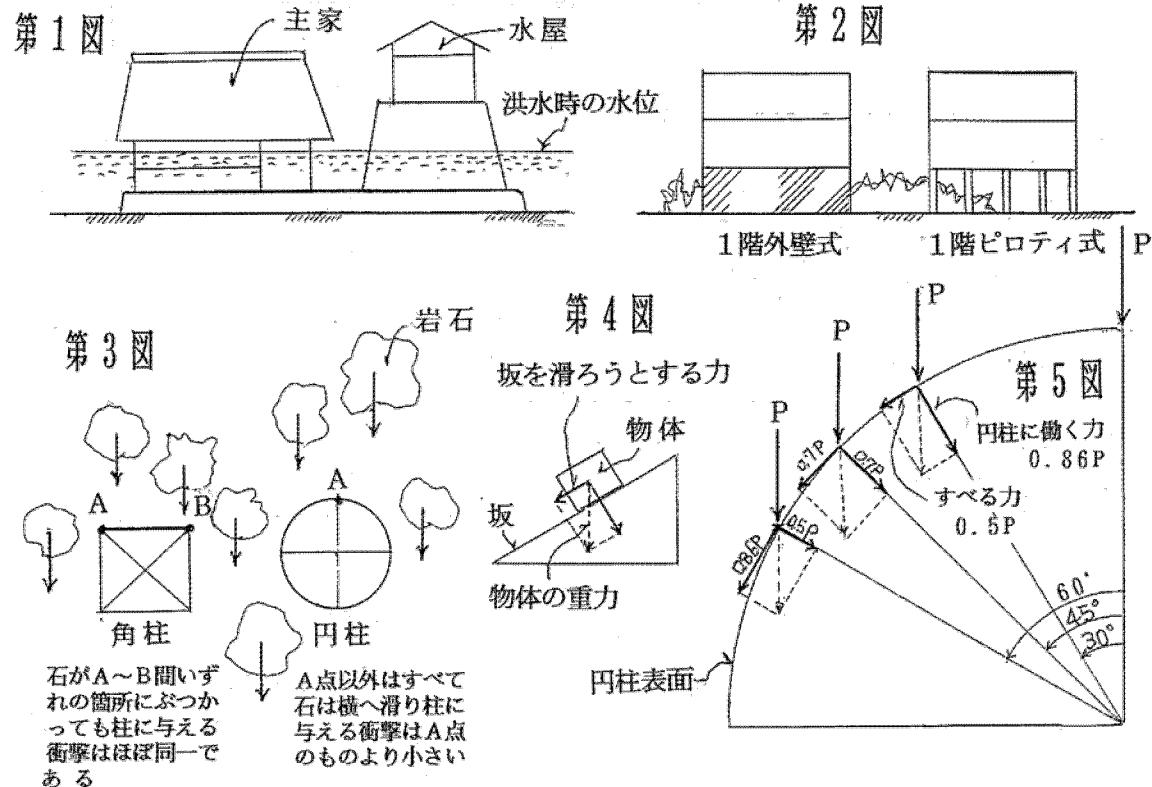
建築士は如何に対応するか。

解説担当 馬場 富雄

9月上旬に名古屋市人事課より呼出しが来た。何事ならと出かけたら、伊勢湾台風から今年で50年たつので今の職員に当時の話を下さいとの事、よく考えれば伊勢湾台風の年に「おぎやあー」と生れた赤ちゃんが今年で50歳になる。公務員の場合は、そろそろ定年がちらつく年である。話の後の懇談会では皆台風を経験した事がないと言う。当地方ではよくも無災害が続いているものだと思ったが、これからがいよいよ危ないとも思った。しかし日本各地では毎年天災の無い年は無い。今日もこの原稿を書いている時にラジオ、テレビで猛烈台風18号が本土上陸かとのニュースを流している。さて、今年のこれまでに起きた天災のトップニュースは何んといつても8月に起きた山口県防府市の集中豪雨による土石流の発生である。老人ホームが土石流の直撃を受け1階が破壊し、尊い命が失われた。

こういう土石流発生の危険な箇所は全国に何万ヶ所もあるという。「そういう所には建物を建てない」といつて事がすめばよいが、狭い我が国では、それも許されない、となれば、もしも土石流が襲ってきても、何んとかやり過ごす建物の設計を考えなければならない。土石流の恐さは水の中に混じっている岩石にその原因がある。すなわち石の比重は水のそれよりもうんと大きく水と同じスピードでぶつかってくるわけであるから、その破壊力は水と比べて格段に大きいのである。しかも水のように自由に形を変えられないのであるから、岩石が建物にぶつかった時は、まともに建物に被害をあたえる。ではどうすればよいのか、その基本的な考え方の第1は土石流の想定される水位よりも高い所に居住床を設定すべきである。当地方(特に岐阜県)では、かって度重なる大洪水に対し、敷地の一部を更に土盛して、その上に小屋を建て洪水の際は、そこへ避難した。これを当地方では水屋と呼んでいた(第1図)。第2は1階を外壁で囲って、まともに土石流と対決するか、それともピロティ方式にするかという選択である(第2図)。

常に於いては1階を壁で囲っておいた方が使い勝手がよいのであるが、先程説明したように、水流と比べて土石流は大きな運動エネルギーをもっているのであるから、この流れをまともに受けとると、その構造計画が大へんなことになる。そうなれば1階をピロティ形式にして、土石流とまともに対決するのではなく、柱群の中を流してしまうのが設計技術としては得策である。

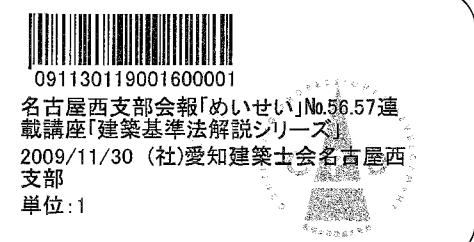


日本語でこのことをよく表現している言葉に「いなす」という言葉がある。辞書を見ると「相手の攻撃や追及を軽くかわす」とある。さて第3の設計工夫であるが、柱をどのような断面形にしたらよいかということである。先程述べたように「いなす」のが目的であるから、柱に岩石が激突してきた場合に矩形でまともに受けるよりは円形にするのがよいと思う(第3図)。我々建築士にとって、あまり円柱設計の機会はないかも知れないが、一応力学的な利点を説明すると、円柱は円の中心に向ってどの方向の加力に対しても同じ強度をもっている究極の断面である。俗っぽく言えばどの方向から攻めても、全く弱点がないのである。そして加力の方向が円の中心からはずれた場合は先程説明した「いなす」現象が必ず発生する性質をもっているのである。

自然界を見ても樹木はほとんど断面は円形である。これはどの方向からの風力に対して同じ強度を持ち、更に風力をまともに受けず、いなしている自然の英知である。そこでピロティの柱を全部円柱にしておけば、土石流に対して岩石が円柱の中心に向ってあたればまともに加力を受けるが、それ以外の方向であれば必ず接線方向にすべる力を生じ、実際に円柱へ加わる力は小さくなるのである。(第3図で説明したように、ほとんどの場合は、いなすことになる)建築基準法施行令の風圧係数でも矩形と円形の見付面積が同じ場合、風力係数が矩形にくらべて円形は

約半分であるから、同じ風力に対して円形は矩形の半分の加力ですむことになる。さてピロティ設計の場合の注意事項であるが、地震力、風圧力に対して壁が無いため、柱は曲げモーメントによる破壊よりも剪断力による破壊に対して十分設計に留意しなければならない。特に円柱をRCで設計する場合は、仮枠によるコンクリート打設でなく薄鉄板で円筒をつくり、柱の表面仕上も兼ねてコンクリートを打設すれば、剪断力に対して非常に有効である。(高速道路の柱脚もこの方法で補強している場合が多い。)

終りに我々が中学、高校で理科の時間に力の分力について習ったことを思い出してほしい。我々の習った図は坂の途中に物が置いてあって坂を物が滑ろうとする力を計算させられた(第4図)。この原理によって円柱の各点に加力がある場合、滑る力と円柱に働く力を示したのが第5図である。今後の円柱設計の場合の何かのお役にたてば幸甚である。



一人目の泣き声が聞こえた数分後、「おめでとうございます」看護婦さんの声が聞こえたが、泣き声がしない。僕は一瞬ドキリと生睡を飲み込んだ。と、その瞬間「フギヤーフギヤー」と甲高い泣き声が聞こえた。産まれた!二人無事に生まれてくれた!!

思い起こせば数ヶ月前、妊娠4ヶ月になる妻が妊婦検診から帰宅すると、「パパ、お腹の赤ちゃん双子だって…。」と思ひがけない報告だった。まさか我が家が双子を授かるなんて、正直喜びよりも驚きが大きかった。その後、妊娠八ヶ月頃から動けなくなった妻に代わり、僕は仕事をしながらも、三歳の娘の世話を夕飯の支度、家事全般に至るまでフル稼働でがんばった。

そして今日、我が家の双子達は元気に産まってくれた。今日は僕の38回目の誕生日である。生涯最高のプレゼントを授かった。



「最近、建築の仕事って重責ばかりで、ぜんぜん楽しくない!」

「いや、建築って夢やチカラを持っていて、本当は楽しいんだよ!」支部会員のツブヤキから端を発し、6支部20周年記念事業のタイトルになりました。タンケン・ハッケン・ホットケンに赴いていた10年前が懐かしく、自分をスキルアップする為の栄養剤を飲んだような…。

来年も引き続き「めいせい」を宜しくお願いします。

森 登

